

# 心配なこと、そのままにせずにご相談ください



医療機関へ受診・相談する場合には、ご家族の正しい理解と情報の整理が大いに役立ちます。

認知症と診断されても「慌てない」「騒がない」ことが大事です。

ご本人とご家族が穏やかで心地の良い生活を送ることを目標に、冷静な対応を心がけましょう。

かかりつけ医 (記入しておきましょう)	(電話)
かかりつけ歯科医 (記入しておきましょう)	(電話)
<b>大田市地域包括支援センター</b> 電話：0854-83-7766 地域包括支援センターは、高齢者の介護、福祉に関することなどについて、「どこに相談してよいか分からない」など、悩みに応じて適切なサービスや機関、制度の利用に繋げ、高齢者の自立した生活を総合的に支援する機関です。 大田市では、市民センター2階に窓口を設置しています。お気軽にご相談ください。 (月曜日～金曜日 8:30～17:15 祝日、年末年始は除く)	

## その他の相談窓口

### 【保健所】

- ころの健康相談 (県央保健所)      電話：0854-84-9823  
(月曜日～金曜日(要予約) 8:30～17:15 祝日、年末年始除く)

### 【認知症専門外来】

- しまね認知症疾患医療センター      電話：0854-20-2630  
(島根大学医学部附属病院)  
医療機関、介護者、患者家族の相談に応じます。  
(月曜日～金曜日 9:00～16:00 祝日、年末年始除く)
- 大田シルバークリニック (認知症外来)      電話：0854-83-7757  
(毎週火曜日・金曜日 9:00～15:00(要電話予約) 祝日、年末年始除く)

### 【大田・邑智圏域連携型認知症疾患医療センター】

- 特定医療法人恵和会 石東病院      電話：0854-82-1035  
認知症の鑑別診断と初期対応、周辺症状と身体合併症の初期診断、治療を行います。  
(月曜日～金曜日 9:00～16:00 祝日、年末年始除く)

### 【介護家族相談】

- 認知症コールセンター      電話：0853-22-4105  
長年の介護の中から得た経験と知識そして技術を活かして、介護家族でなければできない相談に応じます。  
(月曜日～金曜日 10:00～16:00 祝日、年末年始除く)

# 大田市認知症ケアパス

## 認知症ケアパスとは

認知症の状態や進行の程度に応じた対処(ケア)の道筋(パス)を分かりやすく示したものです。

## 認知症とは

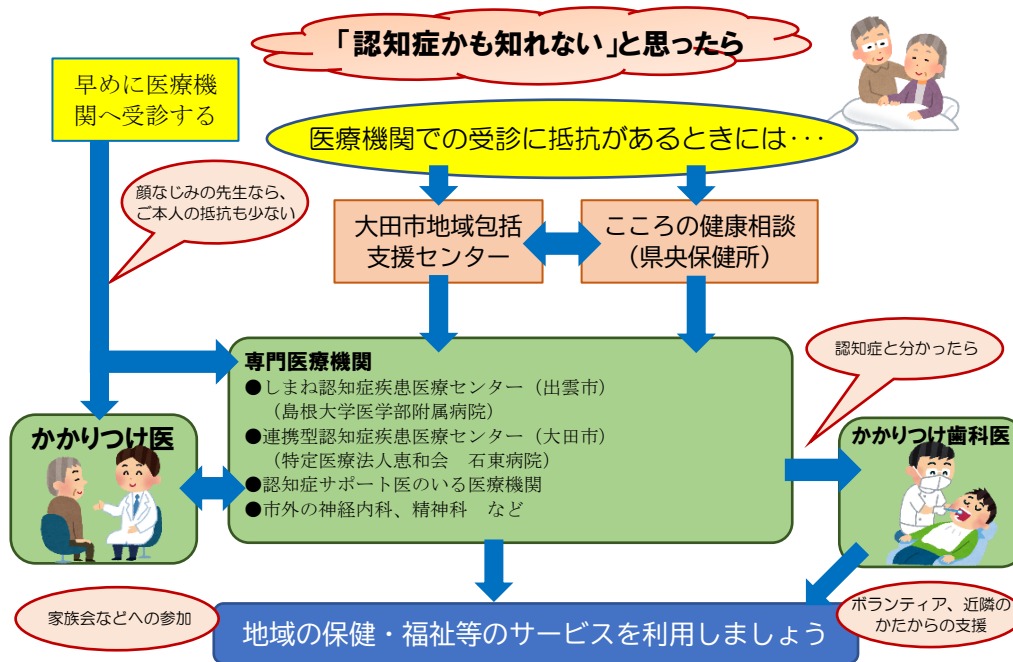
～認知症と物忘れとは異なります。正しく知って、正しく対処しましょう～

認知症とは「いろいろな原因で、脳の細胞が死んでしまったり働きが悪くなったりしたために、さまざまな障がいが起こり、生活するうえで支障が出ている状態(およそ6か月以上継続)」を指します。

認知症にはアルツハイマー病、前頭・側頭型認知症、レビー小体病などの「変性疾患」によるものと、脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化などの「脳血管性疾患」によるものがあります。

## 認知症は早期対応・早期発見が大事です

「認知症は治らない病気だから、病院に行っても意味がない」というかたもいますが、これは誤った考えです。認知症の場合でも、早期診断・早期発見することで、適切な治療・内服で症状が改善したり、進行を遅らせることができます。



認知症のかたも住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるように、その人に合わせたいろいろな支援があります。まずは、大田市地域包括支援センターへお問い合わせください。

項目	正常な状態	認知症の疑いがある状態	認知症を有するが、日常生活は自立している	誰かの見守りがあれば、日常生活は自立している	日常生活に手助け・介護が必要である	常に介護が必要な状態である
本人の様子	元気なうちに、自分の体調管理のために健康診断を受けたり、かかりつけ医を決めておきましょう	○日付、曜日の間違いが増える ○薬の飲み忘れが時々ある ○鍋をたまたま焦がすことがある ○漢字が思い出せない ○子どもや孫の名前を間違える など	○日付や曜日をよく間違える ○薬の飲み忘れが目立つ ○たびたび鍋を焦がすことがある ○約束が思い出せない ○「物を盗られた」等のトラブルが増える ○失敗を指摘すると怒り出す など	○日付や曜日、時間が分からない ○服薬管理ができない ○食べたこと自体を忘れてしまう ○徘徊が多くなる ○妄想が多くなる ○すぐ興奮する ○着替えや食事の指示が必要になる。など	○妄想が多くなる ○すぐ興奮する ○着替えや食事が上手くできない など	○ほぼ寝たきりで意思疎通が困難 ○家族や身近な人のことが分からなくなる ○身の回りのことが殆どできない
家族の接し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活リズムを整えましょう</li> <li>○地域活動に参加し、繋がりをつくりましょう</li> <li>○普段と違う様子が見えてきたら、相談しましょう</li> <li>○かかりつけの医療機関に定期的に受診しましょう</li> <li>○何気ないことに注意してください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新聞やテレビなどをはじめ、毎日様々なことに関心がもてる環境をつくりましょう</li> <li>○定期的な受診を心がけ、症状の変化を医師に報告するようにしましょう</li> <li>○将来のことについて、家族内で話をしていきましょう</li> <li>○火事にならないように工夫をしていきましょう</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○本人の言葉を否定せずに聴いてあげましょう</li> <li>○本人ができることを大切に、一緒にいましょう</li> <li>○同じ話を繰り返すときは、同じ言葉をゆっくり返してあげましょう</li> <li>○本人のプライドを尊重しましょう</li> </ul>	
介護予防・進行予防に努めたい	健康相談、介護予防教室、高齢者通いの場等 の御利用が可能です。詳細は、大田市地域包括支援センターへお問い合わせください				訪問介護(ヘルパー) 【介護保険の認定が必要です】	
周囲のかたと交流したい					通所介護 【介護保険の認定が必要です】	
役割をもって生活したい	シニアクラブ、サロン、介護予防教室、やすらぎサロン(※) 地域ごとに活動しています。一緒に参加してみませんか。詳細は、大田市地域包括支援センターへお問い合わせください					
見守り、安否確認が欲しい						訪問介護(ヘルパー) 【介護保険の認定が必要です】
日常生活の上で支えが欲しい					必要に応じて、介護保険のサービスを利用しましょう 【介護保険の認定が必要です】 サービス例 訪問介護、訪問看護、訪問入浴、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション 小規模多機能型居宅介護、短期入所生活介護・短期入所療養介護、福祉用具貸与、特定福祉用具購入、居宅介護住宅改修	
身の回りのことを支援してほしい						
医療を受けたい						<p>気になることは、まずはかかりつけ医に相談しましょう。必要に応じて認知症専門医療機関(大田市立病院、認知症サポート医、石東病院等)に紹介されることがあります</p> <p>連携型認知症疾患医療センター(石東病院):認知症に関する鑑別診断と初期対応、周辺症状と身体合併症の初期診断、治療および専門医療相談を受けることができます 認知症と診断されたら、早めに歯科を受診しましょう。認知機能の低下により、治療が困難になったり、口腔の清潔の保持が困難になる可能性があります</p>
家族の悩みを聞いてほしい						<p>ちゅうりっぷの会、認知症の人と家族のつどい、オレンジカフェ(認知症カフェ)など 現在介護されているかた、介護のご経験者が集い語り合う場があります。詳細は、大田市地域包括支援センターへお問い合わせください</p>
緊急の時の支援が知りたい						<p>本人の精神状態が良くないとき、精神科病院への 通いを中心に、場合によっては泊りも必要な場合⇒小規模多機能型居宅介護 【介護保険の認定が必要です】 相談が有効な場合があります 介護者が一時的に介護が困難になったとき⇒短期入所生活介護 【介護保険の認定が必要です】</p>
自宅外の生活の場を知りたい(一般高齢者住宅など)	サービス付き高齢者住宅、生活支援ハウス、養護老人ホーム 自宅での生活が不安になってきたときに生活できる場があります					
権利、資産管理の相談がしたい			日常生活自立支援事業 日常の金銭管理やサービス利用に関する手続きの支援制度です	成年後見制度(権利擁護) 自分に代わって契約を結んでもらったり、財産の管理をお願いできる制度です		
介護保険上のサービス(※)					認知症対応型通所介護、介護老人保健施設、小規模多機能型施設、グループホーム等があります 【介護保険の認定が必要です】	介護老人福祉施設 【介護保険の認定が必要です】

※詳しいサービス内容は「大田市介護保険サービスマップ」若しくは「高齢者べんり帳」を御参照ください。